

TDL特集編

ディズニーランドで 働く人にインタビュー

こんにちは。キャリアナビゲーターです。
先月、3年生の修学旅行に、一緒に行きました。
2日目は東京ディズニーランド(TDL)でした。
キャリアナビとしてTDLに行くのに何もしないのはもったいない！
と思い、アトラクション誘導やグッズ販売、道案内などを行っている
キャストさんに質問をしてきました。

質問

キャストの仕事は楽しいですか？
それはなぜですか？

楽しい

(21人中21人)

いろんなゲストの方と話が
できるのが楽しいです。

人が好きでたくさんの人に触れ
あえると思ってキャストになったので。

カチューシャなどグッズを
買っていくゲストは今からパー
クを楽しまれるんだろうと思う
とワクワクします。

楽しそうにしているゲスト
を見ると元気になります。

ゲストが楽しそうにしている
雰囲気が好きです。

たくさんの人に笑顔
をもらってます。

自然と笑顔
になれます。

子どもも大人も外国の方もいろんな人
と関われるのが楽しいです。

Q:「東京ディズニーランド」を運営している会社は？ 答えは裏側

TDLで働くことをもっと詳しくおしえてもらうために、元キャストの方を紹介してもらったよ。

元TDLキャストにインタビュー

(アトラクションキャスト経験5年)

さん

どんなことが大変だった?

アトラクションのリーダーをやりながら新人育成のキャストに選ばれた時は身体が一つじゃ足りないと思うくらい大変でした。

リーダーの仕事はキャストで困っている人がいないか、オペレーションが円滑に回っているかなど全体に気を配りつつ、キャストやゲストからのいろいろな質問に対応していくのですが、無線で質問が飛んできたり答えたりひっきりなしでした。

そのような中でゲストの邪魔にならない配慮をしながら新人トレーニングをし、新人キャストが「辞めたい」と思うことのないようにトレーニング中も楽しませる工夫や、一人ひとりの理解の仕方が違うので、その人に合わせた言い方をするなどして、「この人と一緒に働いて楽しいな」と思ってもらえる人を目指していました。

アメリカから初めてTDLに来たというご年配のお母さんと息子さんに、その時担当していたアトラクションのファストパスはあるかと聞かれました。すでにその日のファストパスは無くなっていました。

私は、お母さんのご年齢から「これが最初で最後のTDLかもしれない」と思い、上司と相談して他のアトラクションに乗れるように手配をしました。英語がほとんど話せなかった私は身振り手振りわずかな単語で会話をしていました。

数時間後、そのゲストさんが戻ってきて手紙を渡してくれました。限られた時間の中、レターセットを購入して書いてきてくださったその手紙には、英語で感謝の言葉がたくさんつづられていました。

この手紙をもらって私は「もっと海外のゲストにもコミュニケーションが取れるようになりたい」と思い、今オーストラリアにいます。私の人生を大きく変えてくれたゲストです。

キャストの仕事で心に残っていることは?

修学旅行中、2日間お世話になったホテルの人に感謝の手紙を書いていた3年生がいたよ。みんなの感謝の言葉が誰かの心を大きく動かすかもしれないね。

キャリナビのつぶやき

TDLにいる人はみんな楽しそうにしているね。

「どうやったら楽しんでもくれるか」をキャストが考えて働いているからゲストが楽しむことができる。その姿を見てキャストが働く喜びを感じるという循環があるからTDLは楽しいのかもしれないね。

みんなは周りの人が「どうやったら楽しんでもくれるか」を考えたことはあるかな? それは『楽しく働く』につながるよ!

保護者の皆様へ

夏休みに入りますね。休み中はお子様とゆっくり話をする機会もあるのではないのでしょうか?

ぜひ「働く楽しさ」についてお子様と会話をしていただければと思います。

A:株式会社オリエンタルランド「東京ディズニーランド」はテーマパークの名称だよ